

「宇都宮市人口ビジョン」及び「宇都宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の概要

参考資料 1

「宇都宮市人口ビジョン」

ビジョンの位置付け

- ・ 21世紀の半ばとなる2050年を見通した、目指すべき方向性と将来の人口の展望を示す

人口の動向

- ・ 総人口 : 増加を続けているが、増加率は減少傾向
- ・ 年齢別人口 : 年少人口、生産年齢人口の減少、老年人口の増加
- ・ 自然動態 : 自然増だが、超過幅は減少傾向
- ・ 社会動態 : 近年は社会増
東京圏への転出超過が大きい
- ・ 産業人口 : 全体的に減少

人口の変化が将来に与える影響の考察

【市民生活への影響】

- ・ 子どもの減少による世代間交流等の減少（人格形成への影響）
- ・ 公共交通利用者の減少によるバス路線の撤退等サービスの低下
- ・ 空き家や管理が行き届かない住宅の増加 など

【地域社会への影響】

- ・ 単身世帯の増加による、地域コミュニティの分断や希薄化
- ・ 生産年齢人口の減少に伴う、市税収入減等の懸念
- ・ 高齢者の増加による社会保障関係経費の増加 など

【地域経済への影響】

- ・ 生産年齢人口の減少による、技能継承の困難化
- ・ 管理が行き届かない農地等の増加 など

市民意識調査等の分析

- ・ 結婚観の醸成や異性との出会いの場の創出が必要
- ・ 安心して出産し、働きながら子育てができるよう、雇用における支援や子育てと仕事が充実した環境づくりが必要
- ・ 市内での就業先確保や、Uターン促進等の環境づくりが必要
- ・ 生活利便性や良好な居住環境を確保していくため、拠点などへの都市機能の集積と居住誘導を図っていくことが必要
- ・ 公共交通ネットワークの充実や移動利便性の向上が必要

人口の将来展望

2050年（平成62年）に50万人台を確保

- ・ 合計特殊出生率の向上、及び本市と東京圏での人口移動の均衡が実現することにより、2050年（平成62年）においても約50万人の人口を確保できる見通し

目指すべき将来の方向

- ① 「市民の結婚・出産・子育ての希望を実現する」
- ② 「人口の定着と東京圏からの流入人口の増加を図る」
- ③ 「人口規模・構造の変化に適合したまち、ネットワーク型コンパクトシティを実現する」

「宇都宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略」

基本目標

1 市民の結婚・出産・子育ての希望を実現する（自然動態に関する目標）

＜成果指標＞

□出生率の向上

：市民の出産の希望（希望出生率：1.72）をかなえるため、毎年度、合計特殊出生率の向上を目指す

□結婚観の意識醸成

：「結婚したい」と思う人の割合を向上

2 人口の定着と東京圏からの流入人口の増加を図る（社会動態に関する目標）

＜成果指標＞

□労働力人口（15歳以上35歳未満）

：73,044人（H22現在）
⇒ 増加を目指す

□東京圏への転出超過

：東京圏への1,000人の転出超過を5年間で900人に減らす。

3 人口規模・構造の変化に適合したまち、ネットワーク型コンパクトシティを実現する（都市基盤に関する目標）

＜成果指標＞

□交通分担率における公共交通の割合

：毎年度増加を目指す

□市内人口に占める都市拠点・地域拠点の人口割合

：毎年度増加を目指す

基本施策・具体的な事業

- ◆：基本施策
- ：具体的な事業

◆若い世代が希望どおりに結婚することができ、子どもを持つことができるよう、経済的な安定や結婚につながる支援などの充実を図る。

- 求人企業合同説明・面接会の実施
- 女性再就職マッチング事業
- イベント等を通じたボランティア活動交流事業 など

◆市民が安心して、妊娠・出産・子育てをすることができるよう、切れ目のない支援を行う。

- 不妊に悩む方への特定治療費支援事業、人工授精治療費助成事業の実施
- 妊婦健康診査の実施
- こども医療費助成制度の拡充 など

◆出産・子育てに積極的な市民を増やすため、働きながら子育てできる環境の実現を図る。

- 認定こども園の設置促進
- ひとり親家庭の預かり事業への補助
- 保育施設等の第3子以降の保育料免除事業の拡充 など

◆高齢者になっても健康で自立した生活を送りながら、あらゆる場面で活躍できる社会の実現を図る。

- 地域の健康づくり実践活動の推進
- 特定健康診査等事業
- 高齢者の社会参画の仕組みづくりの推進 など

◆本市の産業構造や自然環境を踏まえた上で、市内に安定した雇用を創出することで、本市の人口の定着を図る。

- 宇都宮市中小企業高度化設備設置補助事業
- 農村環境の保全推進
- 大谷石採取場跡地等利用促進事業 など

◆地域産業を支える地域人材の育成や、本市の持つ労働供給力の充実など、幅広い分野での「人づくり」を進める。

- 児童生徒の学力向上の推進
- 返還免除型育英修学資金貸付制度の実施
- 地域が一体となったまちづくりの推進 など

◆本市に対する移住を希望する住民を積極的に受け入れる体制づくりを図ることで、特に東京圏からの流入人口の増加を図る。

- リーディングベンチャー創出事業
- 商店街次世代経営者育成事業 など

◆本市の魅力を広く市外、県外に発信することで、来訪者の増加を図るとともに、本市での定住を促進する。

- 自転車を活用した観光誘客促進事業（国内向け誘客促進事業）
- 海外での観光PRの実施（外国人誘客促進事業） など

◆拠点形成と拠点間の連携・補完により持続的に発展する都市を実現する。

- 都市機能等の適正な誘導推進（立地適正化計画の策定）
- 魅力ある景観づくり など

◆本市の特性を生かした産業・観光を維持・発展させる都市を実現する。

- 企業立地、企業定着拡大再投資補助事業
- 宇都宮アンテナショップ「宮カフェ」の運営 など

◆交通ネットワークが整備された利便性の高い都市を実現する。

- LRTの整備
- 自転車走行空間の整備 など

◆自然環境や農地と市街地が有機的に連携した都市を実現する。

- 土地区画整理事業の推進
- 都市緑化の推進 など

◆効率的で健全な都市運営を実現する。

- 公共施設等のマネジメントの推進
- 納税環境の整備 など

主な重要業績評価指標（KPI）

▽有効求人倍率 H24.6：0.93 → H29：1.20

▽自己啓発セミナー等受講生の満足度
H25：88.0% → H31：92.0%

▽妊婦健康診査の受診票利用率

H26実績：93.8% → H31：100%

▽こんにちは赤ちゃん事業の訪問面接率

H26実績：88.3% → H31：100%

▽保育所入所待機児童数

H27.4現在：136人 → H29末：0人

▽男女共同参画推進事業者表彰企業数

H26実績：17社 → H31：30社以上

▽健康寿命

H29：平均寿命の
H22：男性：78.47歳 → 延伸分を上回る
女性：83.16歳 健康寿命の増加

▽市内事業所数の増加（製造業）

H22現在：582社 → H29：640社

▽耕作放棄地面積の減少

H24.3現在：53.2ha → H29：40.0ha

▽自治会加入世帯数

H27.4現在：147,810世帯
→ H31：148,810世帯

▽起業家セミナー等参加者数

H23実績：72人 → H29：100人

▽都市拠点（市内中心部）の通行量〔平日〕

H23実績：103,880人 → H29：110,000人

▽本市年間観光入込客数

H22実績：1,353万人 → H29：1,500万人

▽人口集中地区（DID）人口

H22.10現在：384,583人 → H29：398,000人

▽市内事業所数の増加（製造業）

H22現在：582社 → H29：640社

▽宇都宮に愛着がある人の割合

H23：63.7% → H29：75.0%

▽年間公共交通利用者数

H23実績：31,444千人 → H29：40,589千人

▽住宅のバリアフリー化率

H20.10月：36.2% → H29：65.3%

▽公債費負担比率

H23実績：14.3% → H31：15%以内を維持